

# 節境界設定時における構造保持と依存要素間距離の相互作用

岸山 健 \ 3113142

August 8, 2018

## 1 課題

以下の文は複数の意味に解釈できる曖昧な文である。どのような曖昧さがあるかを述べよ。また、それらの解釈のうち、いずれかが選好されるかを考え、選好される場合はその理由を考察せよ。

- (1) a. ヒロシが食べ物にあたった。  
b. ヒロシは病院で薬をもらって飲んだ。  
c. ツヨシとヒロシの母が病院にやってきた。  
d. ツヨシがヒロシに彼のかばんを渡した。

### 1.1 ヒロシが食べ物にあたった。

例文 (1a) は以下の (2) のように形態素に分けられる。「あたっ」の基本形が「あたる」だとすると、語として 3 つの意味がある。一つは「食中毒のような症状をおこす」という意味であり、「衝撃を与える」や「調査する」のような意味もある。その場合は (2) に対して 3 つの意味があり、それぞれ「ヒロシは食べ物にあたった (食中毒)」、「ヒロシは食べ物にあたった (衝撃)」、そして「ヒロシは食べ物にあたった (調査)」となる。

- (2) ヒロシ が 食べ物 に あたっ た。

他方、(1a) は (3a) のようにも分割できる。その場合は一文の中に「あたる」だけではなく「食べる」という動詞もあることになり、複文構造となる。しかし「食べる」には主格だけではなく目的格も必要であるため、(3a) の文は成り立たない。しかし (3b) のように音形を持たない代名詞、つまり空代名詞 (pro) があるという仮定する。すると「ヒロシは (何をか、は知らないがとにかく何かを) 食べ、物にあたった」という文に解釈でき、上で述べた「あたる」が持つ 3 つの意味それぞれを反映する。その場合、(3b) の構造でも 3 つの意味が起きる。

- (3) a. ヒロシ が 食べ物 に あたっ た。  
b. ヒロシ が pro 食べ物 に あたっ た。

以上のように構造が 2 つ、「あたる」の意味で 3 つの曖昧性があり、構造の面から考えると (2a) は (2b,c) よりも好ましい。まず (2b,c) の構造には空代名詞が必要であり、空代名詞には照応先が必要である。しかし与えられた文には文脈がないため前方照応できず、よって (2b,c) の構造はつukれない。したがって、この中で選好されるのは (2a) の構造のいずれかである。

さらに (2) で選好されるのは「太郎が食べ物で食中毒になった」という意味だが、理由は頻度に基づき説明で

きる。つまり、「食べ物に」を項に取る動詞と「あたる」という動詞が共起した場合、「あたる{食中毒, 衝突, 調査}」のいずれの意味となるのが尤もらしいかを求める。恐らく「あたる(食中毒)」の確率がもっとも高いはずであり、仮にこうした確率を文理解の際に参照しているとすれば、「あたる(食中毒)」の解釈が選好されるはずである。

なお、「A が B」は「鬼ヶ島(おにがしま)」のように「A が所有する B(鬼が所有する島)」ともできる。すると「ヒロシが食べ物」には「ヒロシが所有する食べ物」という解釈ができる。その際は主格に空代名詞を置くと「(誰かは知らないが誰かが) ヒロシが所有する食べ物にあたった」という構造がつくれ、また3つの曖昧性が発生する。他にも「ヒロシは食べ物であり“にあ”という生物が立った。」という文も作れるが、前者は照応先の不在、後者は形態素解析の時点で可能性が除去できるはずである。

## 1.2 ヒロシは病院で薬をもらって飲んだ。

(4) ヒロシは病院で薬をもらって飲んだ。

(1a) は(4)のように形態素解析ができる。述部が「もらう」と「飲む」と2つあるため、節も2つ生成される。問題は「病院で」がどちらの節に属すかであり、「飲んだ」の節に属す構造(5a)と「もらう」の節に属す構造(5b)の可能性がある。

- (5) a. ヒロシは[病院で薬をもらって] pro 飲んだ。  
b. ヒロシは病院で薬を[もらって] pro 飲んだ。

おそらく「ヒロシは病人で薬をもらって飲んだ」というのも行ける。つまり構造的には「ヒロシが病院だ」というのも行ける。

## 1.3 ツヨシとヒロシの母が病院にやってきた。

- (4) a. ツヨシとヒロシの母が病院にやってきた。  
b. ツヨシとヒロシの母が病院にやってきた。

「やって」誰かをあずける「ツヨシとヒロシ」「ツヨシ」と「ヒロシの母」が「ツヨシ」と(with)「ヒロシの母」が条件を設定しないと行けない。「AとBが同じ車で家にきた(with 解釈)」「AとBが別々の車で家にきた」

## 1.4 ツヨシがヒロシに彼のかばんを渡した。

- (5) ツヨシがヒロシに彼のかばんを渡した。

「彼の写真」とすると、所有と修飾ができる。「彼が所有している写真」と「その写真は彼だ」の写真。つまり「彼」が写っている。「彼」の形をしたかばんも「彼のかばん」となる。

AにBを重ねる。ツヨシがヒロシに彼のかばんを渡した。